事業所向け　放課後等デイサービス自己評価表



令和５年度実施分　　事業所名　　放課後等デイサービスリトルスター

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | **チェック項目** | **はい** | **どちらともいえない** | **いいえ** | **改善目標、工夫している点など** |
| 環境  ・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか |  | ○ |  | 集団の人数のよってはスペースが狭いと感じるが、内容等を工夫しながら行っている。 |
| ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ |  |  | 子どもの年齢や状態に応じて、適切な人数で対応するようにしている。必要に応じて基準以上のスタッフを配置出来ている。 |
| ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか |  | ○ |  | 段差はほとんどなく、エレベーターも設置している。しかし、通路に椅子等を置いているため、やや通りにくくないっている。 |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ |  |  | 療育の前後でスタッフ間で話をする時間を設けており、目標設定と振り返りを行っている。 |
| ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ |  |  | 保護者等向け評価表を配り、保護者からいただいた意見等をスタッフ間で話し合い、改善出来るようにしている。 |
| ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ |  |  | 事業所のホームページに掲載している。 |
| ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか |  |  | ○ | 現在は実施していない。 |
| ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ |  |  | 月に一度法人内で研修の機会を設けている。 |
| 適切な支援の提供 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ |  |  | 半年に一度モニタリングを行い、子どもや保護者のニーズや課題を聞き、その内容を基に放課後等デイサービス計画を作成している。 |
| ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか |  |  | ○ | 児童に応じて情報は詳しく聞き取るようにしているが標準化されたものは使用していない。 |
| ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ |  |  | 時間を設けてスタッフ間で話し合い、プログラムの立案を行っている。 |
| ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ |  |  | イベント（ハロウィン・クリスマス等）に合わせたり子どもの興味に合わせたりしている。 |
| ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか |  |  | ○ | 平日、休日、長期休暇に応じて活動設定を行っているわけではない。 |
| ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ |  |  | 必要に応じて集団療育と個別療育を組み合わせながら計画を作成している。 |
| ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ |  |  | 支援前には、スタッフ間で実施内容や目的、留意点、役割分担を適宜話し合い、共通意識を持てるようにしている。 |
| ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか | ○ |  |  | 不適応的な行動が見られた時には共有し、次回の支援につなげることが出来るようにしている。 |
| ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ |  |  | 子どもの様子を分かりやすく簡潔に記録している。記録者だけではなく、他のスタッフの視点も取り入れながら記録を取るようにしている。改善点が見つかった場合には次の支援につなげるようにしている。 |
|  | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ |  |  | １０月にモニタリングを行い、必要に応じて放課後等デイサービス計画の変更や修正などを行っている。 |
| ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか | ○ |  |  | 複数の要素を活動内容に取り入れながら実施している。 |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ |  |  | 子どもの様子をスタッフ間で共有し、管理者、児童発達支援管理責任者が会議に出席するようにしている。 |
| ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか |  | ○ |  | 送迎を実施していないため、該当となる情報交換は行っていないが必要があれば児童の情報交換を行う場合がある。 |
| ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか |  |  | ○ | 対象者なし。 |
| ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか |  |  | ○ | 保護者からのニーズがあれば他機関との連携を図っていくが、現在は保護者からの要望はない。 |
| ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか |  |  | ○ | 対象者なし。 |
| ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか |  |  | ○ | 対象者なし。 |
| ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか |  |  | ○ | 現在はそのような活動を設けることが出来ていない。 |
| ㉗ | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか |  |  | ○ | 現在は新型コロナウイルス流行に伴い、開催されていない。支援者の会には参加。 |
| ㉘ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ |  |  | 日々の活動終了後に必ず、保護者への振り返りの時間を設けている。家庭や事業所、学校での子どもの様子などの情報を共有するようにしている。 |
| ㉙ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか |  |  | ○ | 保護者からの相談に対応することはあるが、ペアレントトレーニングはできていない。 |
| 保護者への説明責任等 | ㉚ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ |  |  | 保護者に対して丁寧に説明するようにしている。 |
| ㉛ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ |  |  | 保護者の方からの悩みや相談にできる限り応じられるようにしている。また、面談等はいつでもできることを周知している。 |
| ㉜ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか |  | ○ |  | 現在は開催できていない。  待合等で保護者の方同士が話しやすい環境を整えている。 |
|  | ㉝ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ |  |  | 相談にはその都度可能な範囲で対応できるようにしている。 |
|  | ㉞ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ |  |  | 行事予定や活動概要を掲示やプリント配布で保護者の方に伝えている。 |
|  | ㉟ | 個人情報に十分注意しているか | ○ |  |  | 事業所から個人情報を持ち出さないことや事業所内での個人情報を整理し管理するように注意喚起している。 |
| ㊱ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ |  |  | 話をする時にはできるだけ短く分かりやすい内容で伝えるようにしている。また、イラストや文字を使い視覚的に提示することで分かりやすいように配慮している。 |
|  | ㊲ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか |  |  | ○ | 現時点で実施していない。 |
| 非常時等の対応 | ㊳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか |  | ○ |  | 避難時の対応マニュアルに限り周知している。防犯や感染症マニュアルに関しては今後作成を行う。 |
| ㊴ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ |  |  | 様々な災害を想定して周知、対策、訓練を行っている。 |
| ㊵ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ |  |  | 虐待についての研修会を実施している。また、児童・保護者・職員等の様子に変化がないか確認している。 |
| ㊶ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ |  |  | パニック等への対応方法について話し合い、身体拘束をしないような方法を考えるようにしている。現在、身体拘束を行う必要のある児童はいない。必要な場合には適切な対応を取る。 |
| ㊷ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ |  |  | アレルギーに関してのアセスメント時に記載してもらうようにしている。 |
| ㊸ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか |  | ○ |  | その都度職員間で話をするようにしている。 |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。